

陸側遮水壁の試験凍結について

2015年 4月 28日

東京電力株式会社



本日の骨子

- 本日13：20に実施計画「陸側遮水壁（山側ライン）における試験凍結」の認可書が交付された
- これを受け、現地保安検査官による手順書の確認および水位観測孔の現場確認が完了後、試験凍結を開始する
- 試験凍結の開始時期は4月30日正午の予定

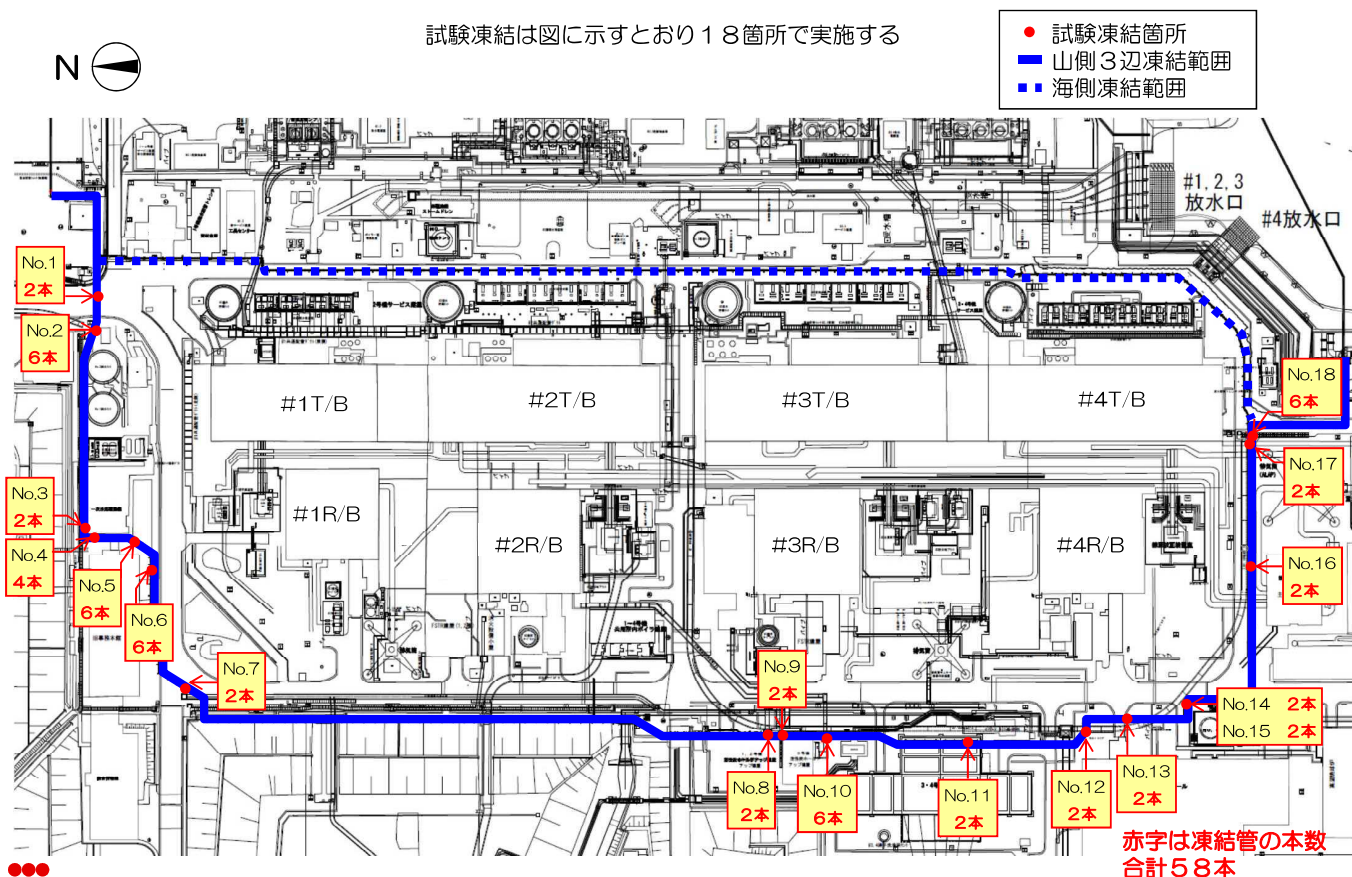
測温管で計測される地中温度、ブラインの送り側（ヘッダー管単位）温度、ブラインの戻り側（凍結管単位）温度の変化傾向を確認する。

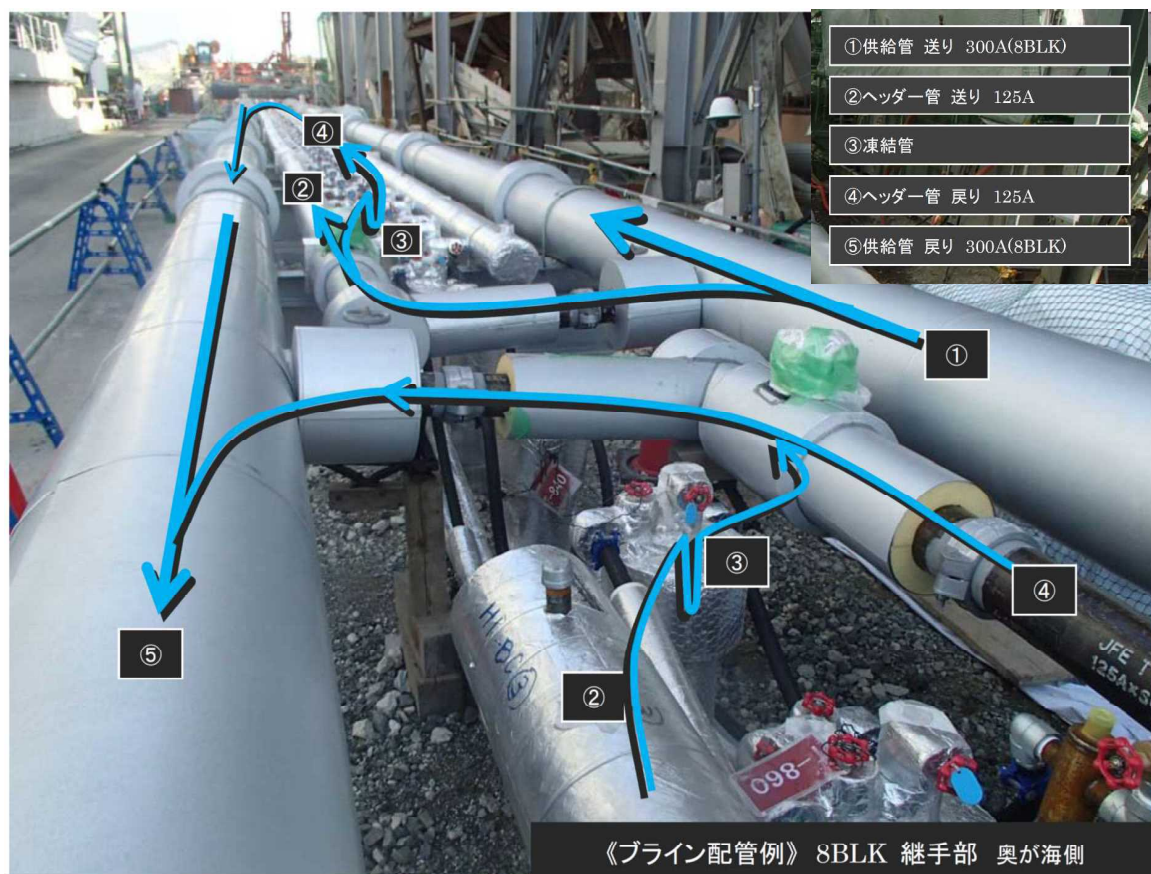
- (1) ブライン循環設備の全体システムの稼働状況
（ブライン移送距離、移送管設置形状）
- (2) 地下水流況の影響（設置箇所、背後斜面、周辺構造物）
- (3) 特殊環境の影響（複列箇所、試験凍結箇所が近接する場所）

上記の凍結環境において、特に影響が大きいと想定される箇所での凍結過程の地中温度などの温度変化傾向を確認することで、本格凍結時に留意すべき点の抽出や対応策の検討に資することが可能となる。

凍土方式陸側遮水壁の試験凍結箇所

試験凍結は図に示すとおり18箇所を実施する

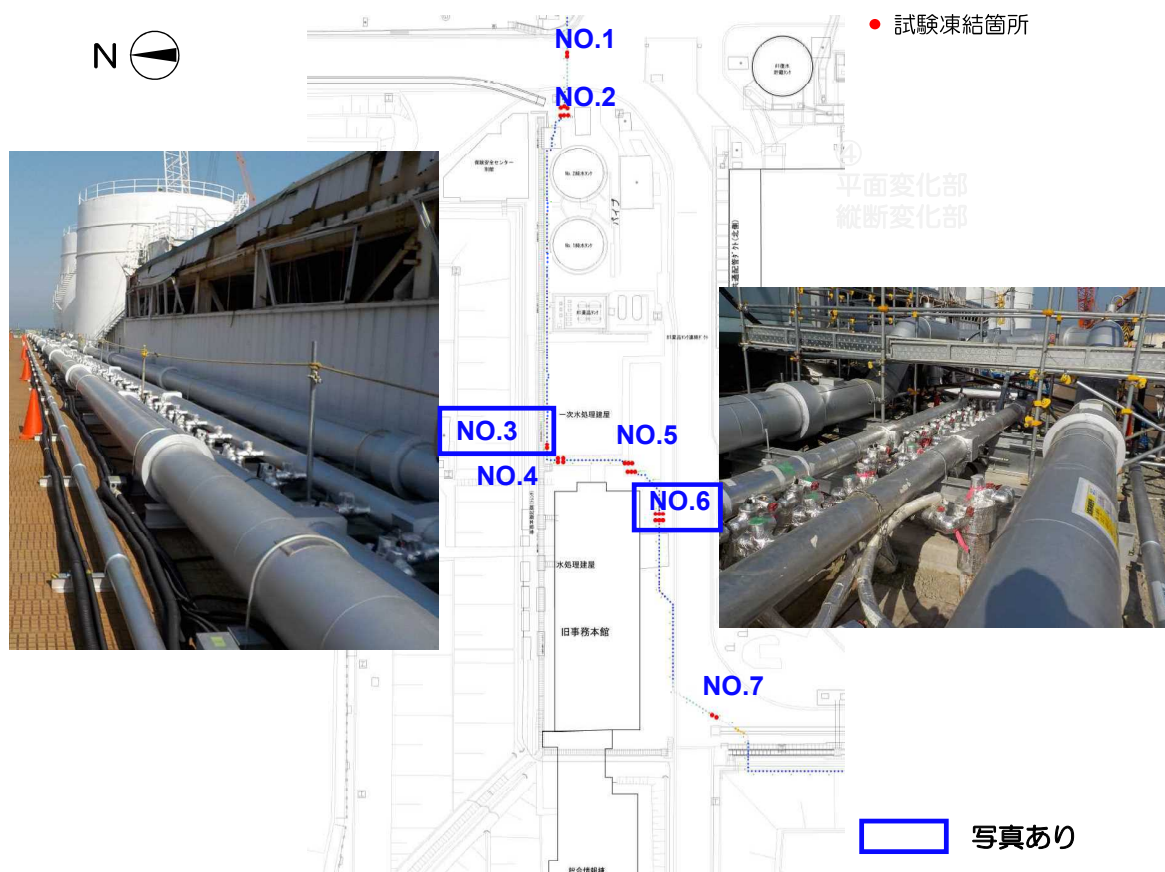




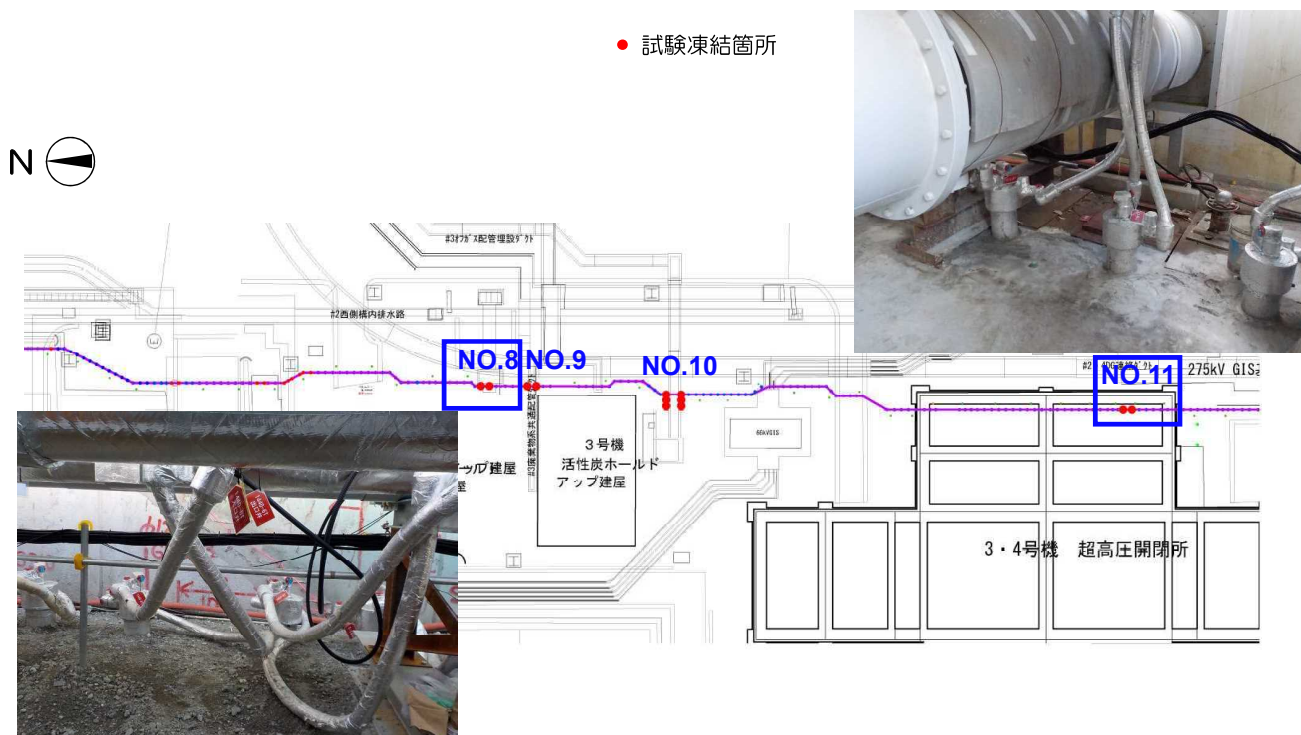
今後の予定

- 連休明けの5月第3週から凍結管近傍の地中温度を公表する。
（週一回程度）
- 試験凍結期間において、以下のような事象で試験が継続できなくなる事態が発生した場合は状況をお知らせする。
 - ＜プラント設備異常＞
 - ブライン（冷却材）タンクレベル低
 - ブライン供給ポンプ全台停止
 - その他、トラブル発生時、設備の全停止が必要と判断された場合
 - ＜火災、人身災害発生＞

(参考) NO.1～7詳細図



(参考) NO.8～11詳細図



(参考) NO.11～15詳細図



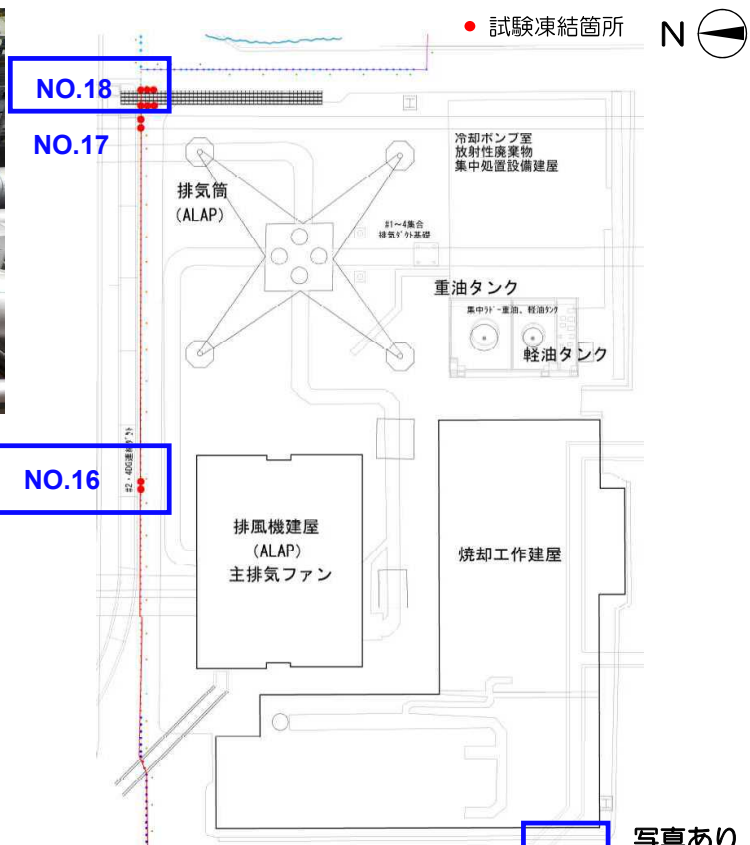
● 試験凍結箇所



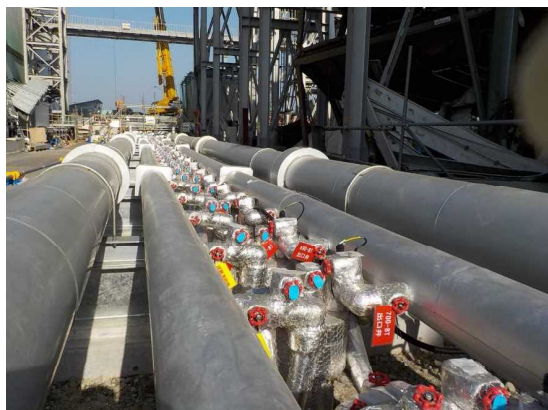
運用補助
共用施設

写真あり

(参考) NO.16～18詳細図



● 試験凍結箇所



写真あり